

切り取ってご利用ください

### 展覧会「没後50年 小杉放菴展」

小杉放菴(明治14年～昭和39年)の没後50年を迎えるに当たり、美術館は「没後50年 小杉放菴展」を開催します。

この展覧会では、初期の水彩画や油彩画をはじめ、洋画の影響を色濃く残す初期の日本画から、特注の麻紙に妙味あふれる墨線を活かした淡彩の日本画まで、各時代の代表作を、可能な限りたくさん紹介していきます。

放菴の多彩な制作活動を総合的に振り返る機会となりますので、ぜひ、ご来館ください。



小杉放菴作「溪鳥」



ジンジャくん

会 期: 9月20日(土)～11月3日(月・祝)

休 館 日: 毎週月曜日

(祝日・振替休日のときは開館し、その翌日を休館)

開館時間: 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

入 館 料: 一般…720(300)円、大学生…510(200)円、  
高校生以下…無料

※( )内は市民割引券を利用した際の料金です。

### 日本の国立公園の歴史は日光にあり

小杉放菴は、日光二荒山神社の神官の子として生まれ、日光に在住した洋画家・五百城文哉氏の内弟子となり、洋画・漫画・挿絵・日本画で優れた作品を残しました。小杉放菴の代表作である「泉」は、東京大学安田講堂に描かれており、当美術館には、その壁画制作のために描いた作品が展示してあります。

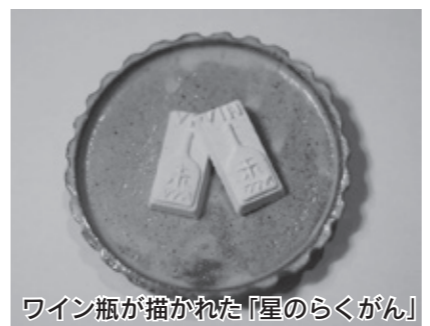
さて、日光市と小杉放菴は、全国の国立公園制度の制定にも深く関与していたのをご存知ですか？

国立公園制定の契機は、明治44年に当時の日光町が帝国議会に提出した「日光を帝国公園となすの請願書」にあります。実際の指定に際しては、

小杉放菴も深く関与していました。こういった背景や、国立公園内にある数少ない公立美術館ということから、昭和初期から戦後までの間に当時の著名な画家によって描かれた、全国の国立公園を題材とした油彩画80点も収蔵しています。

その他、美術館内にはカフェ「アン・レーヴ」やミュージアムショップもあります。生涯お酒を愛していた小杉放菴は、落款(作品に押す印)にまでワイン瓶のデザインを使っていました。その落款の図案をもとに作ったオリジナルの落雁、「星のらくがん」がおすすです。

こんなすてきな空間とストリーがある美術館へ足を運んでみてはいかがでしょうか。



ワイン瓶が描かれた「星のらくがん」

総合政策課 日光ブランド戦略室 ☎(21)5131

### 進め! 地域おこし協力隊

くわしくは 地域振興課 ☎(21)5147

みなさんこんにちは! 今月は、足尾地域おこし協力隊の志村が活動を紹介します。

足尾の地域おこし協力隊は、地域に残っている写真や各行事の記録映像を整理したり調べたりしながら、聞き取り調査を進めています。

例えば、廃校になった校舎にあったアルバムは昭和30年代の白黒写真。おかつば頭の子どもの遠足など、学校生活の様子が分かりました。これらを高齢化対策巡回相談事業で活用したところ、参加者の皆さんは懐かしそうに写真を見て、盛り上がっていました。

また、足尾公民館には昭和50年代の8ミリフィルムがあり、納涼祭や消防点検の様子の記録が残っていました。さらに、公民館で保存する古道具の中にはオープンリールが残り、昭和39年の演奏会の記



録や、民謡名人の足尾石刀節の音声もありました。地域の皆さんの協力のおかげで、約50年前の音を当時の機械で再生することができ、昭和の音楽を楽しむ鑑賞会を行いました。

他にも、銅山で使われていた発破のスイッチやカンテラ、坑内員の方の使い方や経験談を教えてくださいました。社宅の近所付き合いや、あうんの呼吸で行う坑内員の仕事の話が印象的で、今ではそんな暮らしぶりや価値観が大きく変わってしまったと気づきます。現代では貴重な大切な内容だと思っておりますので、活動を通して何かの方法で紹介していきたいと考えています。



### 連載 世界遺産 日光の社寺

教育委員会事務局 文化財課

日光市中央町15-4 ☎(30)1861

#### ◆暫定リスト

暫定リストとは、「各締約国が世界遺産一覧表へ登録することがふさわしいと考える、自国の領域内に存在する資産の目録」のことです。「暫定リストに記載されていない資産の世界遺産一覧表への登録推薦は検討に付されない」と作業指針の62・63段落に記載されています。

下表は、平成4年に日本が世界遺産条約を締結した際に提出した、文化遺産の暫定リストです。これは、日本がまず初めに世界遺産に登録すべきと考えた候補の覧でもあります。

世界遺産にはそれぞれテーマがあり、「日光の社寺」は法隆寺や厳島神社とともに、日本を代表する宗教建築として選出されました。先月号の写真を思い出してください。神社の入口を示す鳥居の内側にお釈迦様の遺骨を埋葬したことを表す五重塔が建っています。このような日本古来の宗教である神道と外来の仏教が一体となった

表: 文化遺産暫定リスト(平成4年)

名称	登録年	テーマ
1 法隆寺地域の仏教建造物	1993	宗教建築
2 姫路城	1993	城郭
3 古都京都の文化財(京都市・宇治市・大津市)	1993	歴史都市
4 白川郷・五箇山の合掌造り集落	1995	農村
5 厳島神社	1996	宗教建築
6 古都奈良の文化財	1998	歴史都市
7 日光の社寺	1999	宗教建築
8 琉球王国のグスク及び関連遺産群	2000	城郭
9 武家の古都・鎌倉	—	歴史都市
10 彦根城	—	城郭

「神仏習合の宗教建築」が「日光の社寺」のテーマです。もちろん、これだけで世界遺産として認められるわけではありません。さらにクリアすべき条件が数多くあるのです。